

# 第1回 NITS 大賞（平成 29 年度）エントリーシート

水戸市立堀原小学校 會澤 貴臣

A-33

## 【活動名】 通学班集会，長期休業へ向けての指導の改善

### 解決すべき課題：

・交通安全・生活安全，特に，登下校時における通学班でのトラブルが多い。「ランドセルをひっぱられ，列に戻されて危ない思いをした」「3列で歩いて危ない」「下級生が言うことを聞かない」「上級生の歩くスピードが速く，ついていけない」など。児童同士，保護者同士の関わりが希薄で，話し合っ解決することが難しいことから，学校がトラブルの解決を行っている。

### 目的や背景：

・昨年度，通学班での児童同士のトラブルや保護者からの苦情が多かった。理由として，上級生が下級生の面倒を見るという意識の低さ，一人一人の交通安全に対する意識の低さが挙げられる。それは，平成 27 年度末に学区子ども会育成会連合会が廃止されたことや学区内の保育所が 1カ所で，市内外の幼稚園・保育園・保育所からの入学となることが要因として考えられる。また，核家族や共働きの家庭が多く，保護者同士が知り合う機会が減り，関わりも希薄になっていることから地域の自治会との結びつきが弱い家庭も多く，学校に頼ってくる事案も多い。  
 ・平成 26 年度から地区なかよし会という名称で，縦割り班での活動を月 1 回実施している。また，今年度始めから学年での下校を取り入れたり，トラブル後の通学班集会を臨時に行ったりした。  
 ・児童一人一人が課題に対して我がごと感をもつこと，保護者自身への安全に対する意識の啓発を目的とした。

### 活動内容：

#### トラブルのあった事案に対応する事後の指導 児童一人一人に我がごと感を持たせる指導

11/7（火）通学班集会（体育館） 大型スクリーン使用での DVD 視聴 & パワーポイントを使った指導（視覚化）

- ・事前に通学班の班長に通学路の危険箇所と思われる場所の確認を依頼（ワークシート）。
- ・通学班集会「じぶんのことは，じぶんでまもる」

DVD 視聴 「安全に通学しよう（見通しの悪い交差点）」文部科学省教材 担当より実際の通学路の危険箇所の提示（右写真）。

通学班ごとに話し合い 15 の地区（45 の通学班）に分かれ，班長を中心に危険箇所の確認と「どのようにすれば安全に通学できるか」についての話し合いを行った。

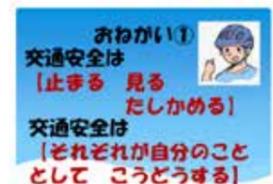


#### 危険発見論 犠牲者非難 危険発見論 安全共感・協働論

12/25（月）終業式での事前指導 スクリーン・プロジェクターを使用し，パワーポイント（PP）を使った指導（視覚化）PP は下記に一部添付

#### <交通安全>

- ・「自分を守る」「みんなを守る」指導
- ・安全をつくる指導

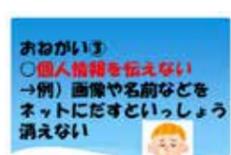
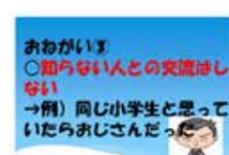
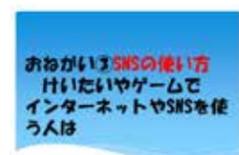
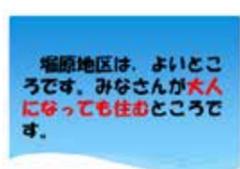
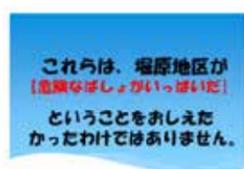
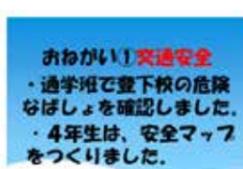


#### <生活安全>

- ・自分を守る指導と危険予測の指導



- ・茨城県警察から文書を活用した指導



#### 不審者対策 名札・来校者シールの利用

・学校公開日「学校へようこそ & 学習発表会 11/3（金）」と 2 学期授業参観 12/1（金）に各家庭 1 個配付済の名札の活用，また，新たに来校者シールを活用することによって，不審者対策と保護者への安全に関する意識の高揚を目指した。

### 活動の成果：

・交通安全：教え込む教育から学習者中心の教育への転換により通学班での児童間トラブルが減り，保護者からの電話は 2 学期 3 件ほどに激減した。  
 ・安全に対する全体指導が学級指導とリンクし，教師が共通の認識のもと指導ができた。また，ICT 機器を効果的に活用することにより児童の興味を引き付けられた。

### アピールポイント（アイデア）：

- ・課題の解決のために児童や教師の意識を転換し，学習者中心の指導に切り替えたこと。
- ・児童の実態や発達段階を考慮し，実際の通学路の写真や ICT の活用をし，児童に我がごと感をもたせたこと。